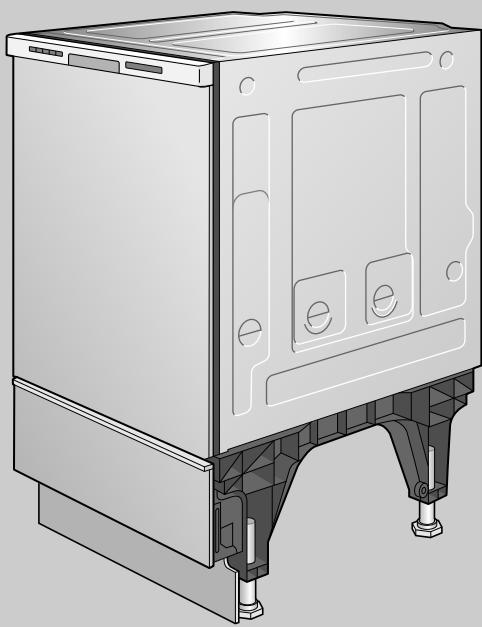


取付設置説明書

食器洗い乾燥機 45 cm幅シリーズ

品番

NP-45MC6T



取付設置説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に取付設置してください。
特に「安全上のご注意」(2~3ページ) は、取付設置前に必ずお読みください。

特定保守製品

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえと寸法	4
■ 付属品の確認	5
■ 設置場所の確認	6
● 片側がフリーの場合	
● L型コーナー部に設置する場合	
● 片側が壁面やトールユニットの場合	
電気工事	7
■ 電気工事を行う	
■ アース(接地)を行う	
● 漏電しゃ断器の設置について	
給水・排水工事	8
■ 給水・排水工事を行う	
● 給湯器について	
● 配管例	
・床立上げの場合・壁出しの場合	
・床ころがしの場合	
設置手順	10
① 台枠の組み立て	10
② 転倒防止金具の取り付け	11
③ 台枠とボデーBの高さ調整	11
④ 台枠の設置	13
⑤ コード類の束ね	14
⑥ 電源コード・アース線の接続	15
⑦ フィラーの取り付け	16
⑧ 本体のビルトインとホースジョイントの接続	16
・床立上げ、壁出しの場合	
・床ころがしの場合	
⑨ 前ズレ防止金具の取り付け	17
⑩ 給湯(給水)管との接続・排水ホースの接続	18
試運転	19
■ 試運転を行う	
■ 確認を行う	
● 異常報知について	
試運転後の作業	21
① ケコミカバーの取り付け	
② ボデーBの取り付け	
■ 設置後の点検(チェックリスト)	22
■ お客様への取り扱い説明	23

■ や ① などのマークがある項目は、作業の後にチェックを実施してください。

安全上のご注意

設置される方へ

- この製品は、(財)電気安全環境研究所(JET*)より『給水装置の構造及び材質の基準(厚生省令)』の適合証明を受けています。このため、逆止弁等の設置は必要ありません。
- ※厚生省の「給水装置に係る第三者認証機関の業務等の指針」に示された要件を備えた第三者認証機関
- 給水装置工事(配管工事)は、各市町村にて施工承認を受けた後、指定工事業者が施工してください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この取付設置説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 設置終了後[設置後の点検]のチェックリストに基づいて必ず再確認を行ってください。
- この説明書は設置終了後、お客様へお渡しください。
- 設置に関して不明な点がありましたらお買い上げの販売店へご相談ください。

取付設置説明書に従わなかったために生じた事故・損害については責任を負いかねます。

本書に記載のマークについて



このマークがある項目や手順では必ずチェックを実施してください。



このマークがある作業は電動ドライバーを使わず、必ず手締めしてください。
●電動ドライバーを使用してネジを締め付けると、空回りを起こすことがあります。

特定保守製品に関するお願い

- 本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
- 特定保守製品とは「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適切なものとして政令で定めるもの」です。
- 付属の取扱説明書と所有者票(黄色の封筒に入っています)は、必ず特定保守製品取引事業者またはお客様(消費者、賃貸業者等の所有者)にお渡しください。
- 消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は製品の製造・輸入事業者(特定製造事業者等)に対して、所有者情報を提供する義務が定められています。

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

- 絶対に分解したり修理・改造しない。
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
- 修理は販売店へご相談ください。



- 火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けない。

火災や変形のおそれがあります。



- 水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電のおそれがあります。



- ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

必ずお守りください



警告



- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。)

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

- 電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしない。

- 電源コードを転倒防止金具や本体の底面や脚との間に挟み込まない。

- コンセントを床面にころがして、電源プラグを差し込み使用しない。

感電・漏電や火災の原因となります。

- 延長コードは使わない。

発熱による火災の原因となります。

- ビルトインのとき電源コード、アース線、排水ホース、給水ホースに傷をつけない。

感電・漏電・火災や水漏れの原因となります。

- コンセントの差込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因となります。

- 販売店に点検・修理を依頼してください。



- アースを確実に取り付ける。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- アース工事は販売店または電気工事店にご相談ください。
(アース工事費は、本製品の価格には含まれていません。)



- 電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く。
火災の原因になります。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- 電源プラグはコードが下向きになるようにし、コンセントに奥まで確実に差し込む。

上向きにするとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火するおそれがあります。

- 定格15 A・交流100 Vのコンセントを単独で使う。

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。



注意



- 給水弁を床に落とさない。

落下させると床面が傷付くおそれがあります。

- 包装を外す時、刃物を使わない。

刃物により製品が損傷し水漏れなどのおそれがあります。

- 元止め式湯沸器には接続しない。

湯沸器からの水漏れのおそれがあります。

- キッチンにビルトインしないで使用しない。

ドアを開くと前方に転倒して、けがをするおそれがあります。



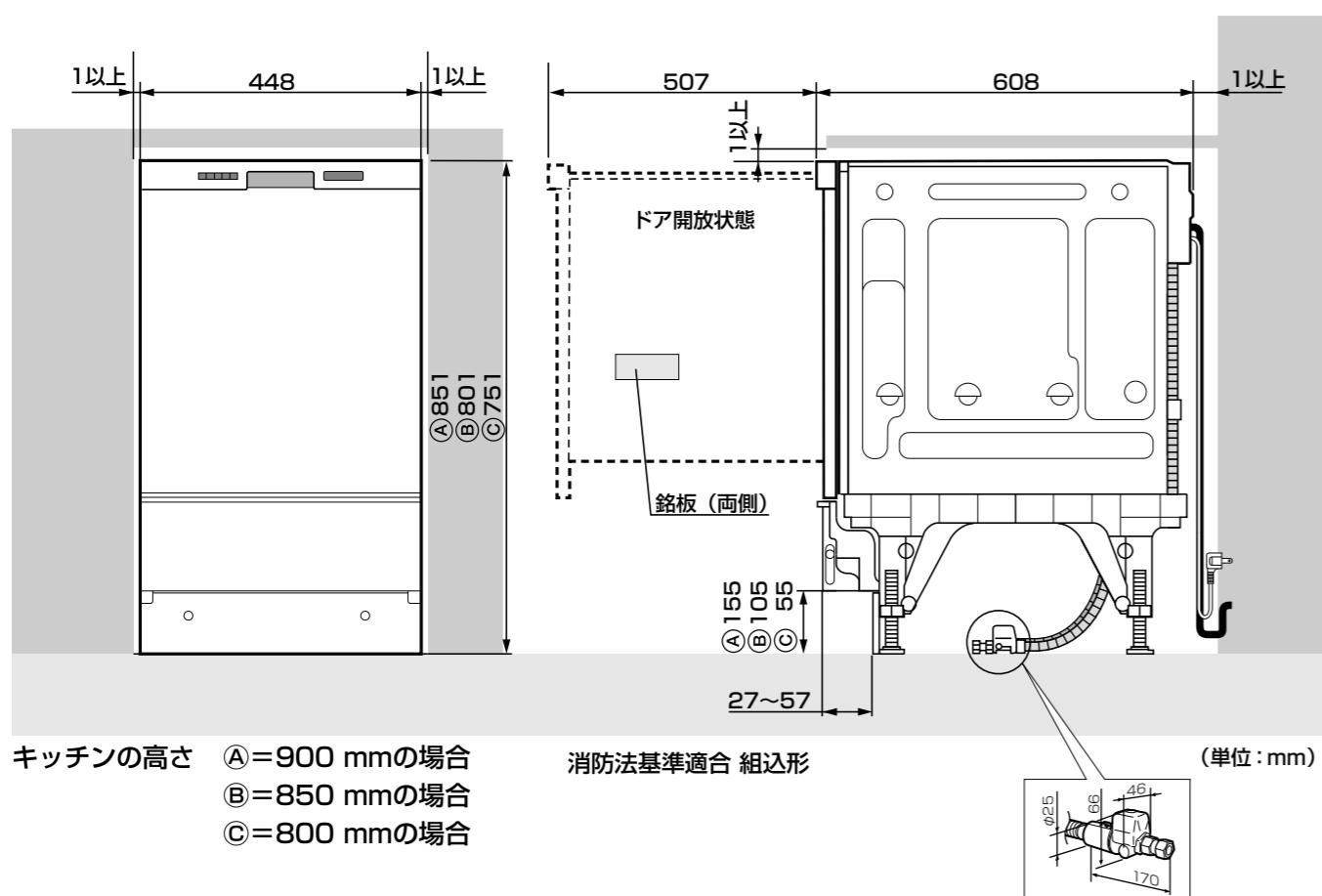
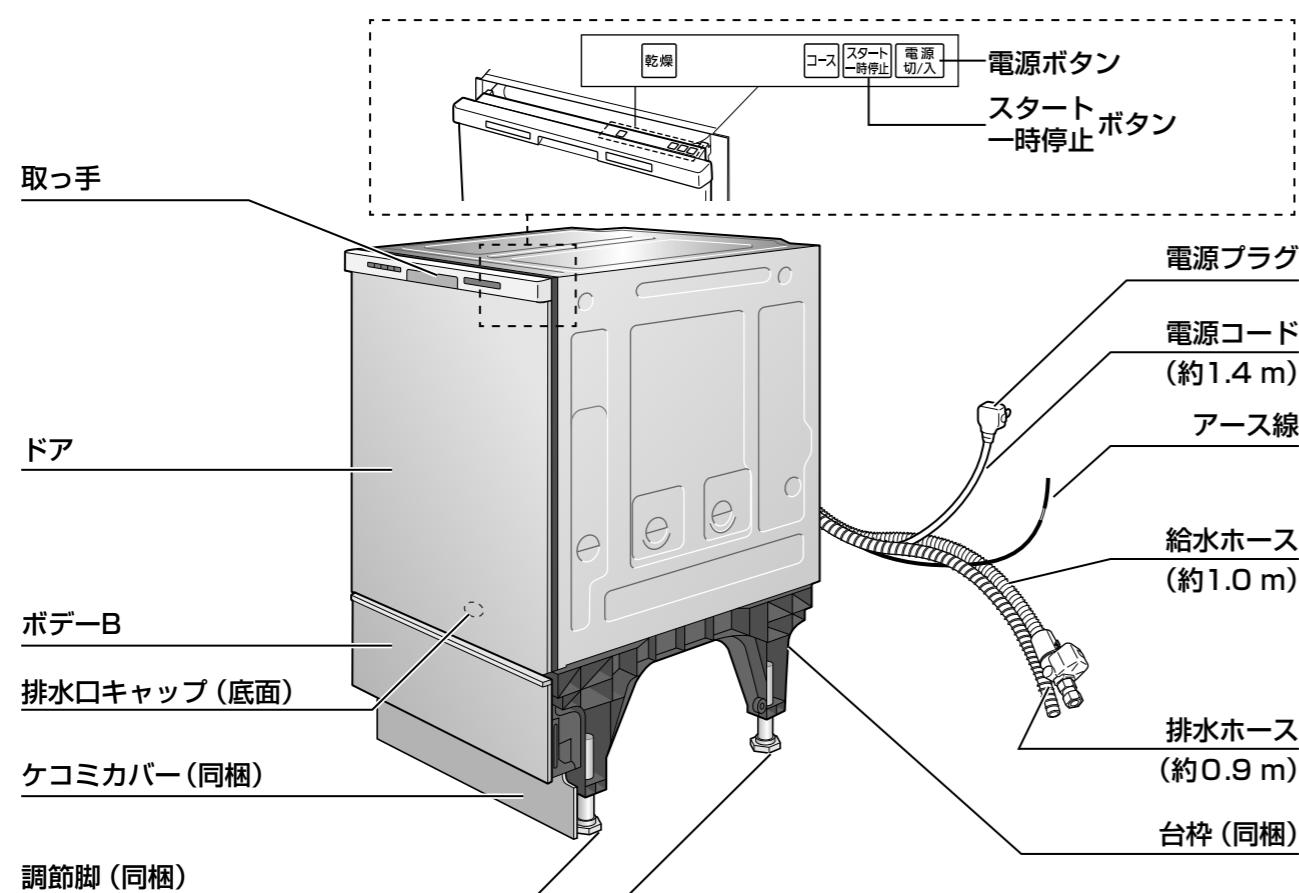
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。
感電やショートして発火することがあります。

- 高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける。

水漏れの原因になります。

各部のなまえと寸法

●本体、かごのテープ、ダンボール、ドア下部の包装部品などはすべて取り外してください。



■ 付属品の確認



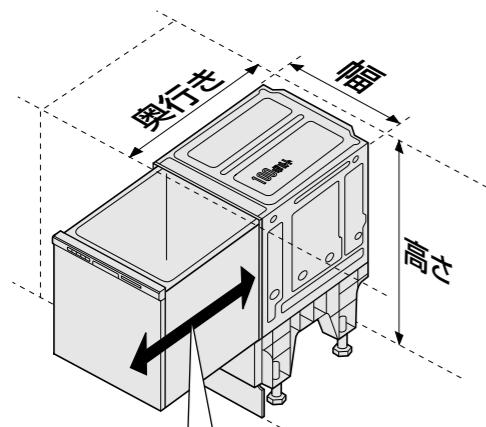
設置に必要な付属品

①台枠 (調整脚付き) (左右各1個)	②前つぎ板 (調整ネジ付き) (1個)
③後つぎ板 (1個)	
④転倒防止金具 (2個)	⑤調整脚固定金具 (各1個)
⑦木ネジ (4×30) ● ①横連結用	⑧ネジⒶ (5×15) ● ⑤取り付け用
×4本	×5本
⑨ネジⒷ (4×14) ● ②・③・④取り付け用	⑩ボーダーB (1個)
×6本	
⑪エルボ (1個) ⑫パッキン (1個)	⑬ケコミカバー (1枚)
⑭ネジⒷ黒色 (4×20) ● ⑬取り付け用	⑮ホースジョイント (1個) ⑯ホースバンドⒶ (2本)
×2本	
⑰ホースバンドⒷ (1個)	⑲フィラー (1個)
⑳ネジ黒色 (4×14) ● ⑥取り付け用	⑳ボデーシール (1枚)
×2本	

■ 設置場所の確認



※本機設置時は下図の設置寸法をお守りください。(離隔距離0 cmは消防法基準適合)



ビルトイン後も商品メンテナンスのため、本機の前面に750 mm以上のスペースを確保してください。

■ ビルトイン寸法

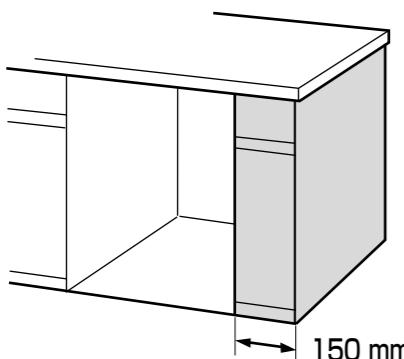
奥行き	600 mm以上
幅	450 mm以上
高さ	キッチンの高さ カウンター下面から設置面までの高さ 900 mmの場合▶860 mm以上 850 mmの場合▶810 mm以上 800 mmの場合▶760 mm以上

お願い

※法令義務により、本機やキッチンの金属部分は、家屋の壁中のラスや金属板に、電気的に接触しないようにしてください。
※法令：電気設備の技術基準の解釈

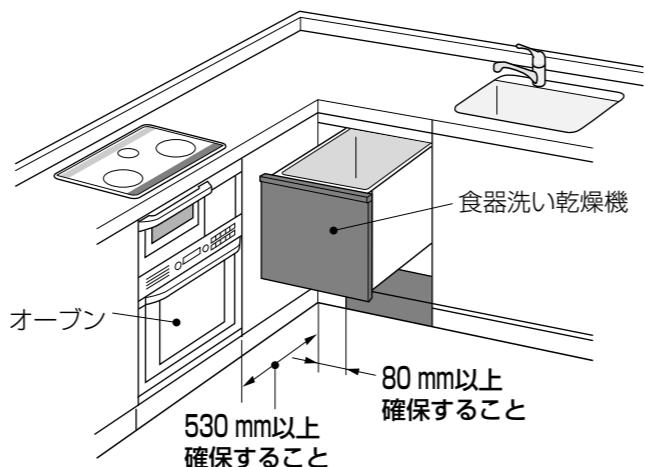
片側がフリーの場合

- 幅150 mmキャビネットなどを使用して、カウンターを支える処置をします。



L型コーナー部に設置する場合

- 近接する機器と接触しないよう、本機ドアの開閉スペースを確保してください。

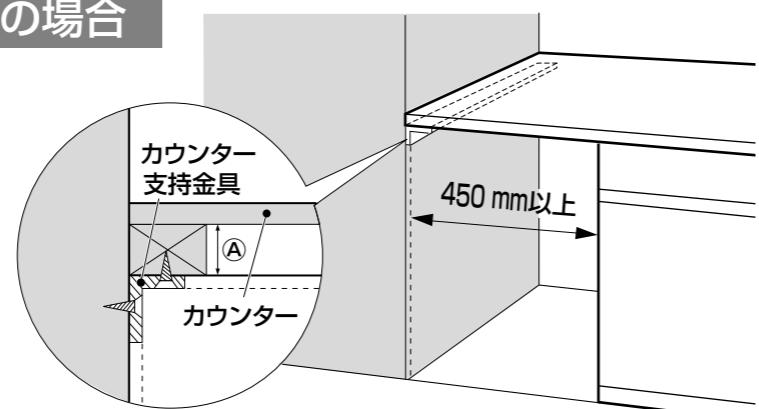


片側が壁面やトールユニットの場合

- カウンター支持金具は市販のL金具などを使用します。

※締結ネジの長さは右図のⒶ寸法より5 mm以上短くし、カウンターの金属部に接触させないでください。

※法令：電気設備の技術基準の解釈



- ビルトイン型加熱機器などと並べて設置すると、カウンター上への荷重でたわむ場合があるため、補強処置を施してください。
(市販のL金具などを使用)

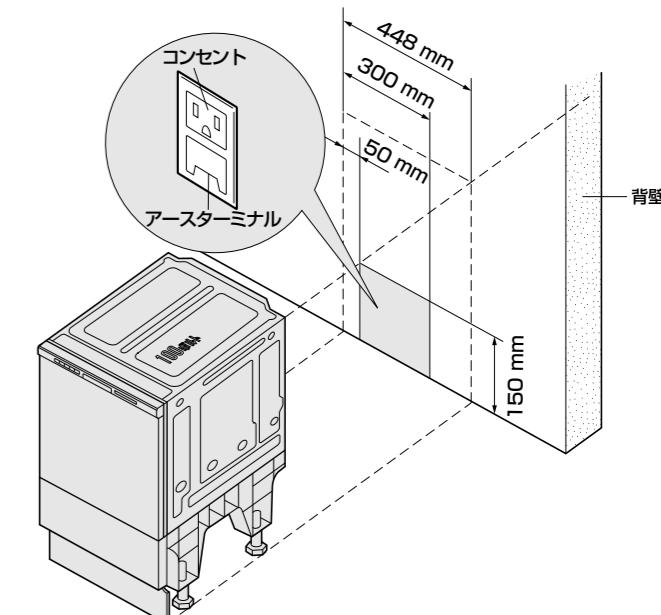
電気工事

■ 電気工事を行う



- 電気工事、アース工事はすべて電気工事士の有資格者が、電気設備の技術基準に準じて行ってください。

- コンセントは定格表示125 V、15 Aのアースターミナル付埋込みコンセントを使用してください。
- コンセントは壁面の決められた位置(右図参照)に必ず固定してください。



■ アース(接地)を行う



- 感電事故防止のため必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。(法令により規定)

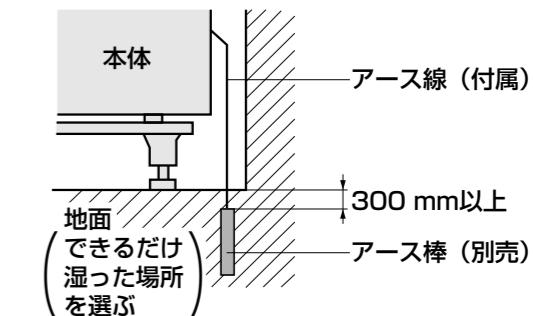
- ガス管や水道管、電話や避雷針、および漏電しゃ断器を入れた他の製品のアース回路には接続しないでください。(法令により禁止)

- アース端子付きコンセントは、接地抵抗値(100 Ω以下)をご使用ください。
(接続方法：P.15参照)

- 設置場所の変更や転居の際は、必ず再度アースを取り付けてください。

※ご不明な点は販売店または電気工事店にご相談ください。

アース棒を使用の場合



漏電しゃ断器の設置について

万一のために、漏電しゃ断器の設置が必要です。

※主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに設置する必要はありません。

漏電しゃ断器——住宅分電盤用小形漏電ブレーカー

(例) 品番(パナソニック)BJS 203

定格電流20 A、感度電流30 mA
(AC100-200 V両用)

既設分電盤の分岐安全ブレーカーH B型と同一サイズです。
取り替えて、そのまま専用回路の漏電保護ができます。

給水・排水工事

■ 給水・排水工事を行う



■ 本機が使用できる水道水圧は0.03~1 MPa {0.3~10 kgf/cm²} ですが、配管の状態による圧力上昇に備え、0.6 MPa {6 kgf/cm²} を超える場合は減圧弁を取り付けてください。

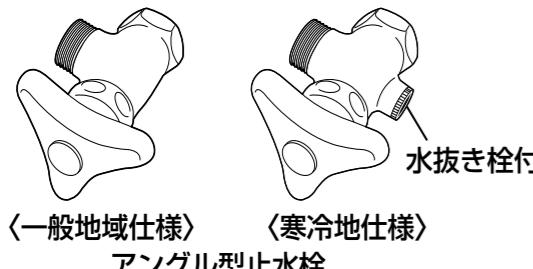
■ 本機は(財)電気安全環境研究所(JET)より「給水装置の構造及び材質の基準(厚生省令)」に適合するとの証明を受けているため、給水装置への接合に際し逆止弁等の設置は必要ありません。

《各市町村の条例等により逆止弁を取り付ける際、本機の配管近傍にシングルレバー水栓がある場合》

- シングルレバー水栓の配管に減圧弁か、ウォーターハンマー防止器を取り付ける。
- 本機の配管に減圧弁を取り付ける。
(水栓急閉時のウォーターハンマー現象により、逆止弁下流側の本機や本機の配管に異常な高水圧がかかり、本機の故障や水漏れの原因となるため。)

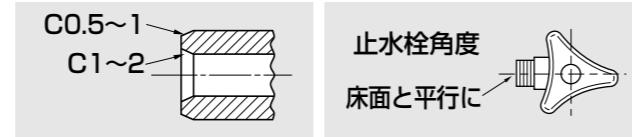
■ 本機は配管直結タイプのため設計／施工工事の段階で給水・排水の位置決めを正確にしてください。

- 給湯(給水)管は硬質塩化ビニルライニング鋼管(相当品)を使用し、断熱材を巻いてください。(給湯の場合は必ず耐熱配管にしてください。)
- 排水横枝管に至るまでの接続部分(チーズ)も耐熱塩化ビニル管(HT相当品)を使用してください。
- 配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
- 給水配管・排水配管の端面はバリのないよう処理し、管内の異物(切り粉など)を完全に取り除いてください。
- アングル型止水栓(ハンドル式、固定ゴマタイプ)を必ず取り付けてください。
 - 落としゴマタイプは使わない。(ゴトゴト音の原因)
 - 止水栓は閉じた状態で、出口は床面と平行にしてください。



※凍結が心配される地域に設置される場合は水抜き弁を有した寒冷地仕様の止水栓を取り付けてください。

- 排水管HT20の端面内周に、面取り(C1~2)を施してください。外径側は面取り(C0.5~1)をつけるとホースの挿入が容易になります。



お願い

元付け型の浄水器に接続しない

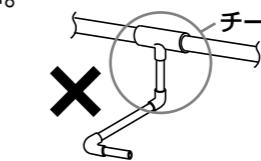
元付け型の浄水器に接続すると、残留塩素濃度が0.1 ppm未満(水道法基準は0.1 ppm以上)となり屋内に給水される水が細菌などに汚染されるおそれがあります。

給湯器について

- 給水接続か給湯接続かお客様に確認したうえで施工願います。
(給湯接続された場合、運転時間にメリットがあります。)
- 給湯は中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯器、10号以上の先止め式給湯器などで、出湯温度が45℃~70℃の範囲で温度調節可能な機器に接続してください。
※出湯温度が調節できない機器には別売のミキシングバルブを接続してください。
(例:パナソニック・システム部材開発センター扱い。AD-MB905Aなど)
- 小型深夜電力利用温水器には接続しない。
本機へ給水されないおそれがあります。
- 先止め式湯沸器には接続しない。
湯沸器からの水漏れのおそれがあります。

配管例

- ※印寸法は必ずお守りください。(排水ホース折れ、排水不良の原因)
- 下記配管例以外の施工をする場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
 - チーズを下向けにしないでください。
(汚水が逆流し水漏れのおそれ)

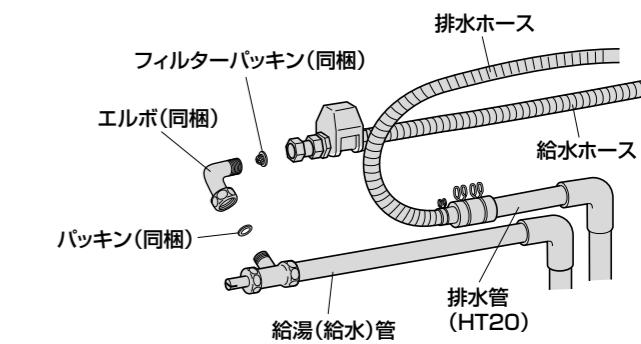


買い替えの場合

- 右図のように既設の給湯(給水)管や排水管(HT20)を使用して、本機の給水ホース・排水ホースに無理な力がかかるないように接続することも可能です。

〈床立上げ・壁出し・床ころがし共通〉

- 給水ホース接続時はエルボ(同梱)などを使用して接続してください。

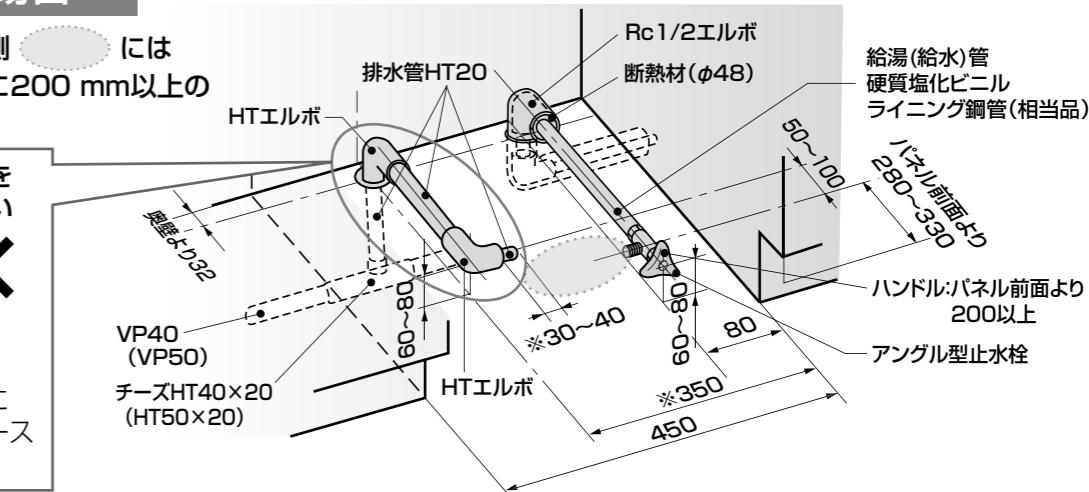


【単位: mm】

新しく設置する場合

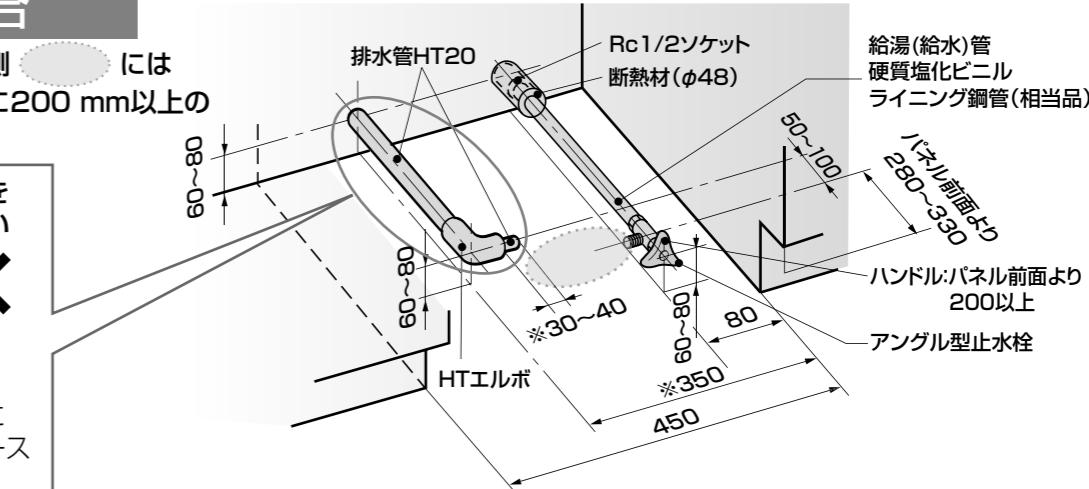
床立上げの場合

止水栓接続部の左側には
給水ホース接続用に200 mm以上の
空間が必要です。



壁出しの場合

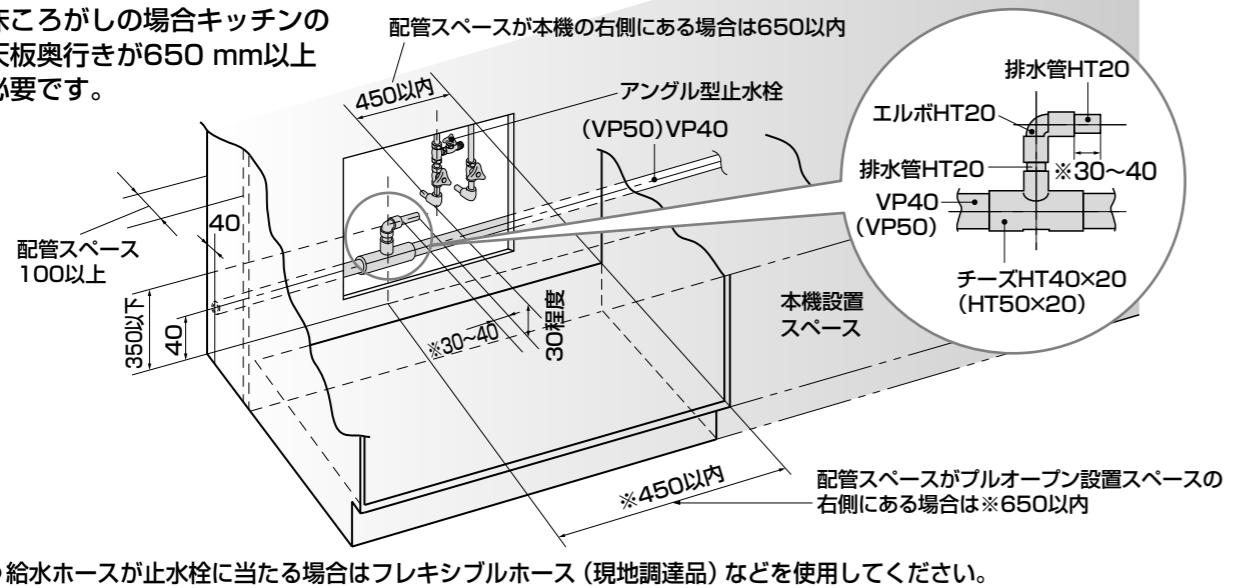
止水栓接続部の左側には
給水ホース接続用に200 mm以上の
空間が必要です。



床ころがしの場合

床ころがしの場合キッチンの天板奥行きが650 mm以上必要です。

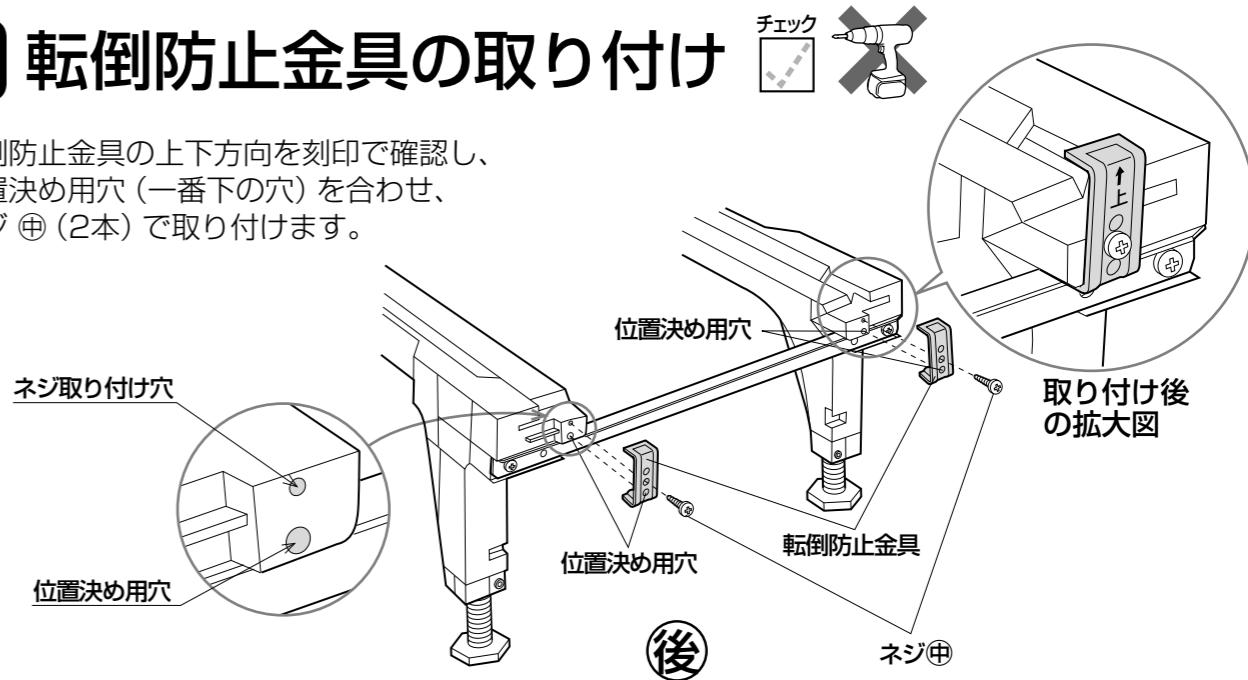
近接するシンクの背面に点検口と配管スペースがある場合



●給水ホースが止水栓に当たる場合はフレキシブルホース（現地調達品）などを使用してください。

2 転倒防止金具の取り付け

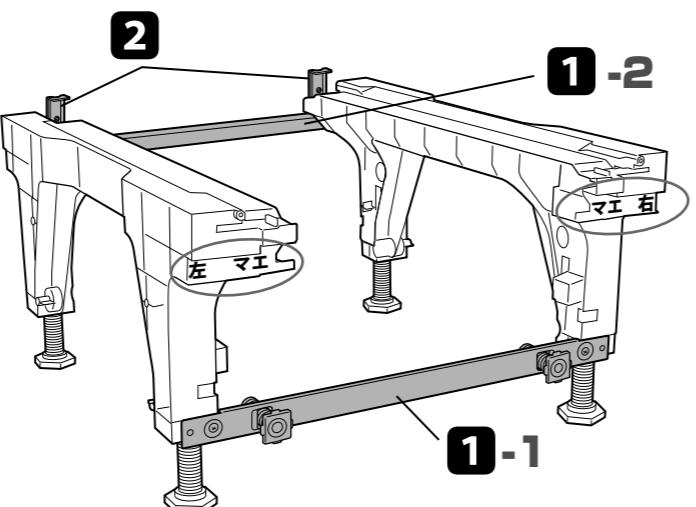
- 転倒防止金具の上下方向を刻印で確認し、位置決め用穴（一番下の穴）を合わせ、ネジ④（2本）で取り付けます。



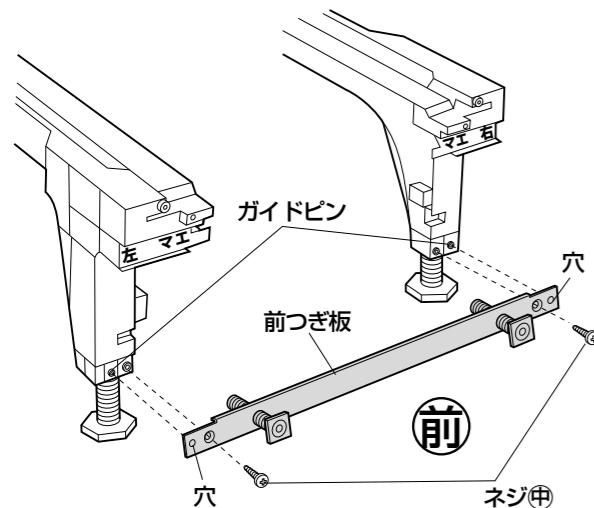
設置手順

1 台枠の組み立て

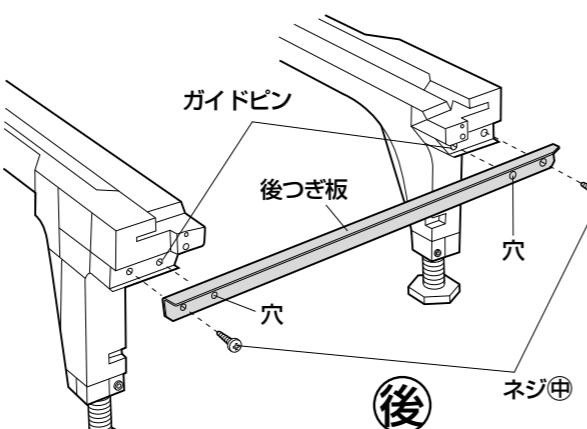
- 台枠の刻印（左マエ、マエ右）で前後、左右を確認してください。



- 1 台枠のガイドピンに前つぎ板の穴を合わせ、ネジ④（2本）で取りつける。



- 2 台枠のガイドピンに後つぎ板の穴を合わせ、ネジ④（2本）で取りつける。



3 台枠とボデーBの高さ調整

本機はケコミ収納部ライン⑦と高さを合わせることができます。ボデーB寸法を調整できます。

- ケコミ収納部の高さが150 mmの場合は、ボデーB寸法の調整は必要ありません。
- 隣接するキッチンの種類により作業手順が異なります。（作業手順判断表参照）

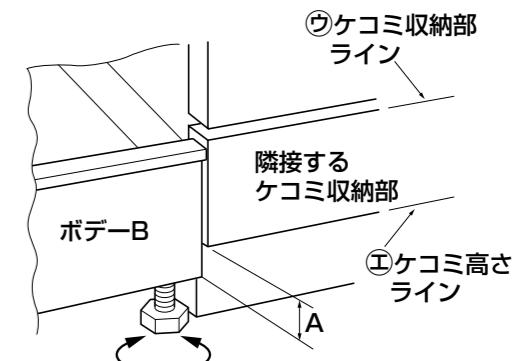
【単位: mm】

キッチンの種類	作業手順判断表		
	ア寸法	イ寸法	ケコミ収納部ライン合わせ
ケコミ収納部あり	550~563	107~152	できる
		上記以外	できない
ケコミ収納部なし		上記以外	

カウンター下面
フィラーにより
調整可能5~8
本体寸法
545
ボデーB寸法
調整可能
107~152
ケコミ寸法
※ボデーB寸法に
連動しています。
⑦ケコミ収納部ライン
⑧ケコミ収納部上面までの寸法
⑨ケコミ収納部扉寸法
⑩ケコミ高さライン
図はキッチン高さ850、カウンター厚さ40を基準としています。

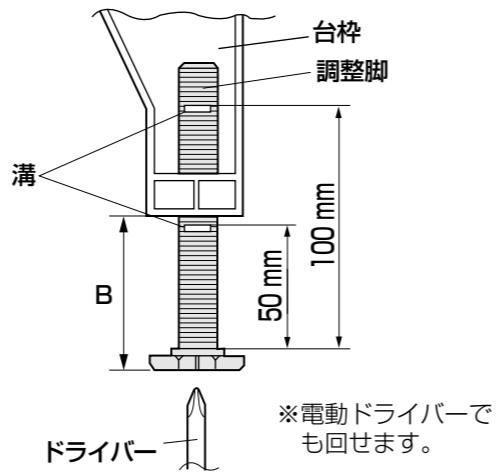
ケコミ収納部のライン⑦合わせができる場合

- 1 右図のように、隣接するキッチンのケコミ収納部ライン⑦と、本機の台枠にセットしたボデーB上端の高さがそろうように、本体台枠の調整脚を回す。
- 2 隣接するキッチンのケコミ高さライン⑩とボデーBの高さの差「A」を測定する。
(⇒手順5へ)



ケコミ収納部のライン⑤合わせができない場合

- 本機を設置するキッチンの高さに応じて、台枠の調整脚の出代の調整を行ってください。
- 調整脚には、出代50 mmと100 mmの位置に溝があります。

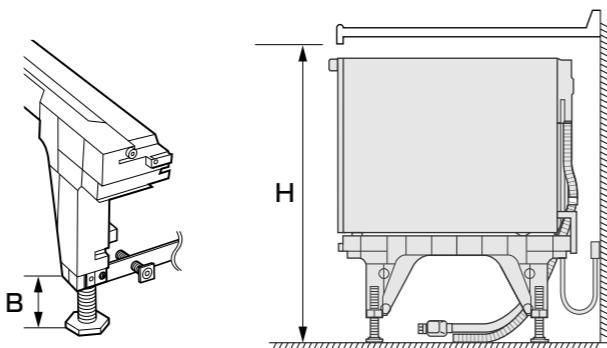


1 カウンタ下面より設置面までの高さ「H」を測定する。

2 調整脚の出代「B」を次の式で求める。
 $B = H - 747$

3 台枠の高さ調整のための調整脚を回転させて「B」寸法になるように出代を調整する。

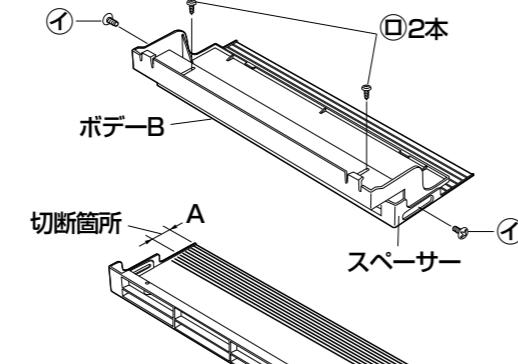
4 隣接するキッチンのケコミ高さライン①とボデーBの高さの差「A」を測定する。
(11ページ「ケコミ収納部のライン⑤合わせができる場合」の図を参照)



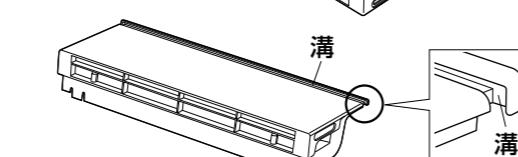
5 キッチンのケコミ高さとボデーBの高さを合わせるためにボデーBの高さを下記要領で調節する。

① ①、②のネジ4本とスペーサーを外す。

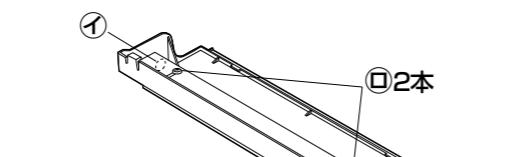
② スペーサーの内側にある溝(5 mm幅)に沿って、カッターナイフなどで前の手順で求めた「A」寸法分をカットする。



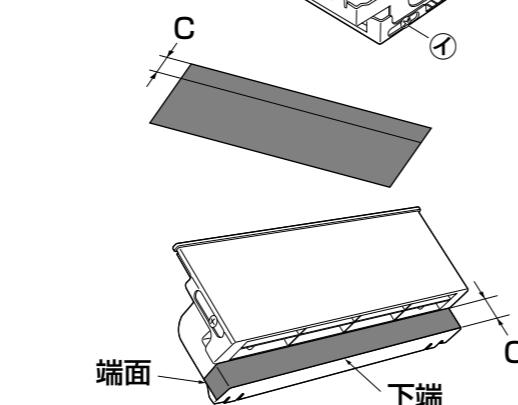
③ 短くなったスペーサーをボデーB上部の溝に挿入する。



④ ①、②のネジ4本でスペーザーを取り付ける。



⑤ ボディシールをカッターナイフなどで「C」寸法分にカットする。

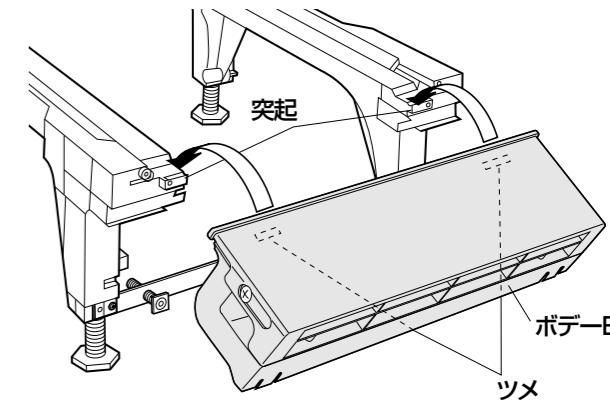


⑥ ⑤でカットしたボディシールを、図のように端面からボデーBの下端に沿うように貼る。

4 台枠の設置



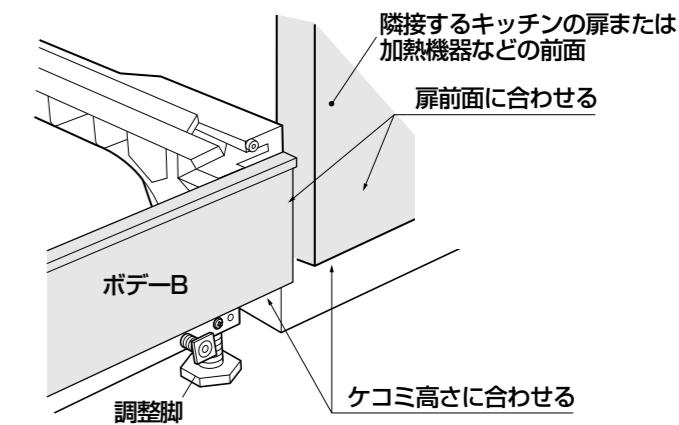
- 1 ボデーBのツメを台枠の突起にはめ込み、カチッと音がするまで下方を押して取り付ける。



2 台枠を設置スペースにビルトインし、ボデーBの位置を調整する。

- 前面：ボデーB前面を隣接するキッチンの扉前面に合わせる。
- 下面：調整脚でキッチンのケコミ高さに合わせる。

(水準器などを用いて、前後方向、左右方向に傾きがないように調整してください。)

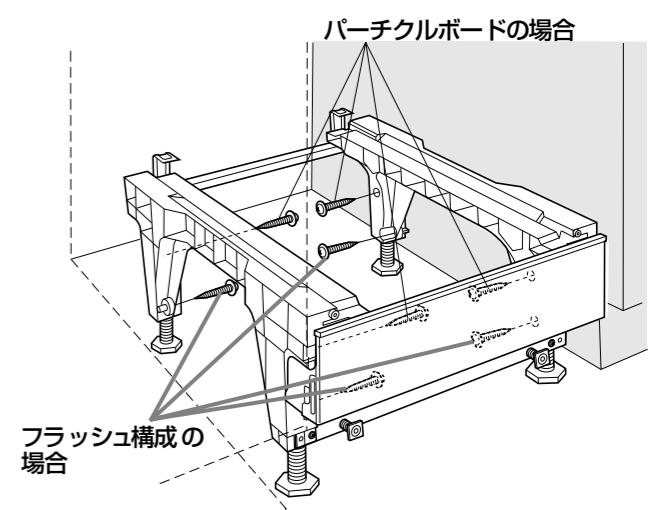


3 同梱の木ネジ(4本)で台枠を隣接するキャビネットの側板に締め付け固定する。

キャビネットの側板が

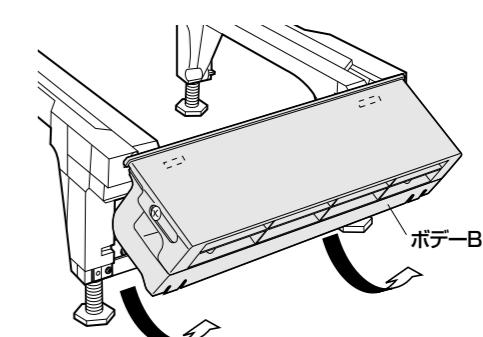
- ・パーチクルボードの場合 : 上の穴
 - ・フラッシュ(中空)構成の場合 : 下の穴
- で締めてください。

※片側に加熱機器などがある場合：
14ページ「片側が加熱機器などの場合」
参照



4 ボデーBの下辺部を手前に引き、台枠から取り外す。

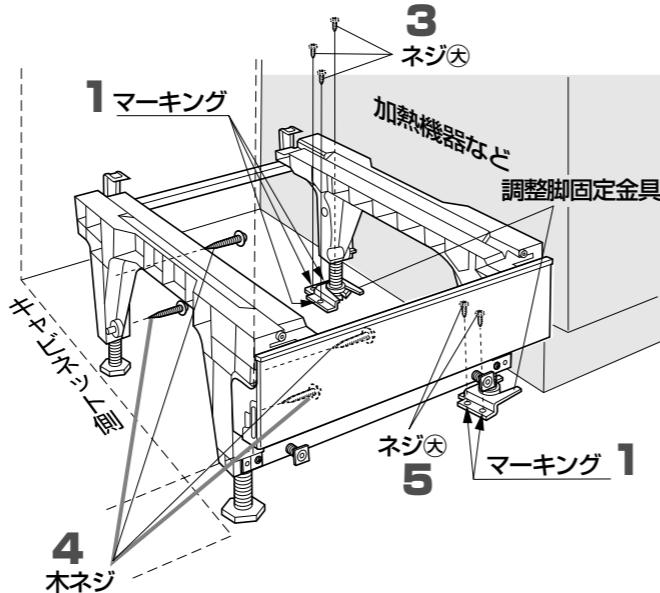
- ボデーBは「試運転」終了まで取り外した状態にしておきます。



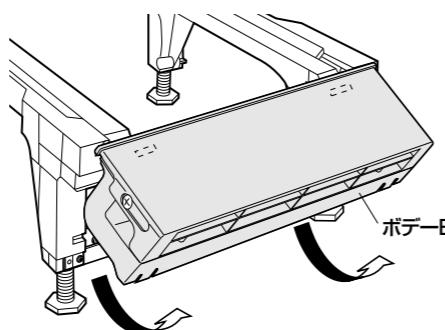
片側が加熱機器などの場合

加熱機器側には木ネジは取り付けられないため、調整脚固定金具（同梱）の取り付けが必要です。

- 1** 加熱機器側に調整脚固定金具を右図のようにセットし、後部3か所、前部2か所のネジ穴にマーキングする。
- 2** 台枠、調整脚固定金具を取り外し、マーキング部にφ3の穴をあける。
- 3** 後部の調整脚固定金具のみを同梱のネジⒶ（3本）で締め付ける。
- 4** 台枠を再度設置して前後上下の位置を合わせ、キャビネット側の台枠を同梱の木ネジ（2本）で側板に締め付ける。
- 5** 前部の調整脚固定金具を元に位置にセットし、同梱のネジⒶ（2本）で締め付ける。
- 6** ボデーBの下辺部を手前に引き、台枠から取り外す。
 - ボデーBは「試運転」終了まで取り外した状態にしておきます。



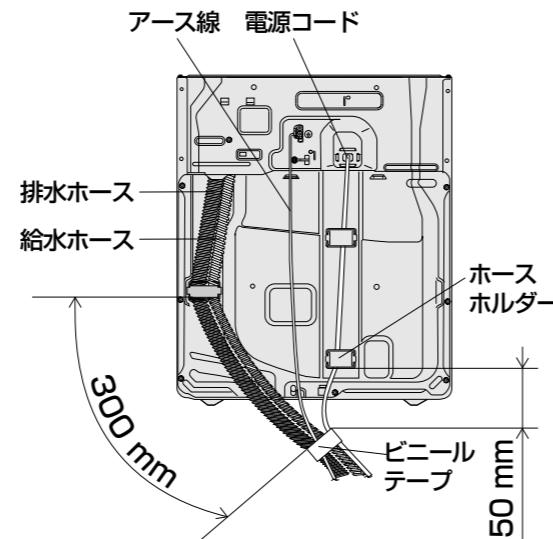
キャビネットの側板が
 ・パーチクルボードの場合 : 上の穴
 ・フラッシュ（中空）構成の場合 : 下の穴



5 コード類の束ね

- 1** 本体背面のホースホルダーなどを外し、給水ホース・排水ホースを下向きにする。
- 2** 右図のようにホースホルダーの下の位置で各ホース、コード類をビニールテープで束ねる。

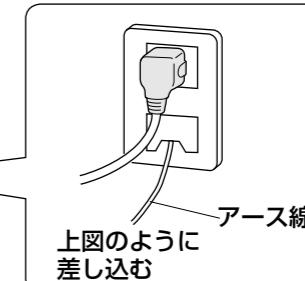
※電源コードやアース線が転倒防止金具にかみ込まれないようにするため、必ず行ってください。



6 電源コード・アース線の接続



●電源コード・アース線は台枠の内側から通して接続してください。



(アース棒を使用の場合、接続方法はP.7参照)

警告

電源プラグはコードが下向きになるようにし、コンセントに奥まで確実に差し込む。



上向きにするとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火するおそれがあります。

アースを確実に取り付ける。



故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

●アース工事は必ず販売店に依頼してください。

●電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしない。

●コンセントを床面にころがして、電源プラグを差し込み使用しない。



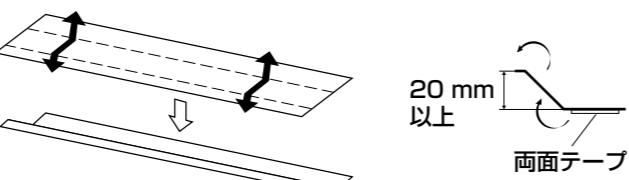
感電・漏電や火災の原因となります。

7 フィラーの取り付け

チェック

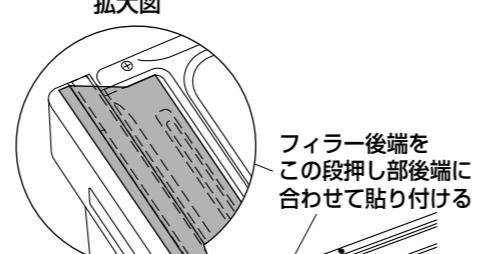
※機器上部に引き出しを設置するなど、キッチンへの設置状態によってはフィラーを取り付けない場合もあります。

- 1 フィラーの折り目(ミシン目)に合わせて図のように折り曲げ、下部の両面テープの離型紙をはがす。

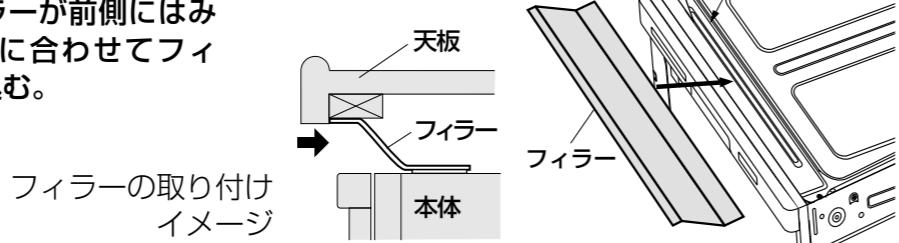


- 2 本体天面にある段押し部にフィラー後端を合わせ、左右均等になるように貼り付ける。

●本体からはみ出さないように貼り付けてください。



- 3 本体ビルトイン後にフィラーが前側にはみ出さないように天板形状に合わせてフィラーを天板前面部に押し込む。

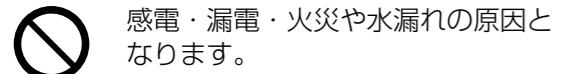


8 本体のビルトインとホースジョイントの接続

⚠ 警告

チェック

ビルトインのとき電源コード、アース線、排水ホース、給水ホースに傷をつけない。

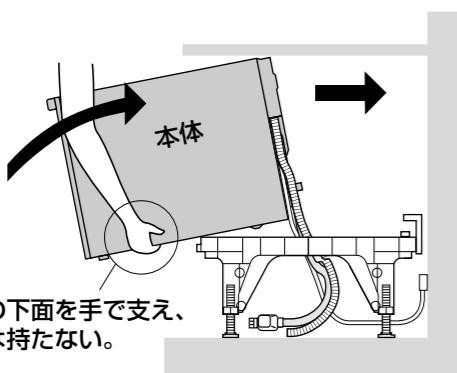


電源コードを転倒防止金具や本体の底面や脚との間に挟み込まない。

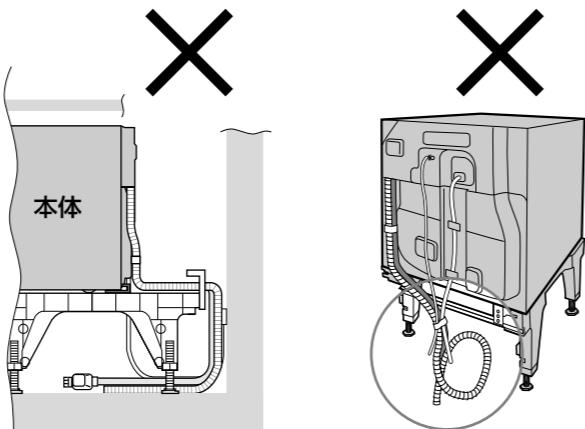


感電・漏電や火災の原因となります。

- 1 本体の後脚を台枠に乗せ、台枠の上をすべらせながら押し込む。



※本体の下面を手で支え、ドアは持たない。



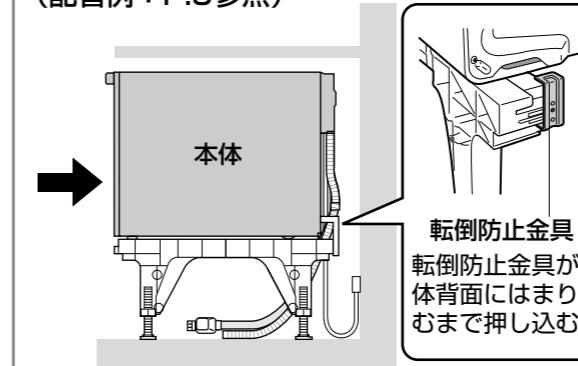
給水ホース・排水ホースは後づき板の後方を通さないでください。
※給水ホース・排水ホースが傷つくおそれがあります。

排水ホースのループ巻き接続はしないでください。
※排水が充分にできません。

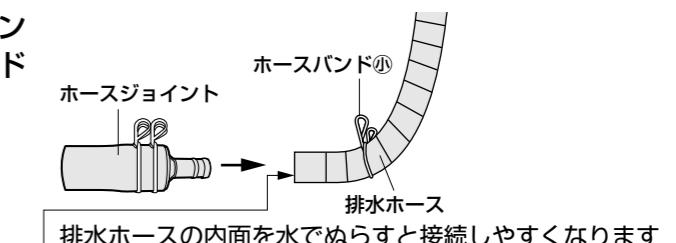
- 2 本体の前脚が台枠に乗ったら、隣接する機器などに注意し、ドア中央下部をゆっくり押してビルトインする。

床立上げ、壁出しの場合

(配管例 : P.9参照)



- 3 排水ホースの先端に同梱のホースジョイントを奥いっぱいまで挿入し、ホースバンド④で止める。



排水ホースの内面を水でぬらすと接続しやすくなります

9 前ズレ防止金具の取り付け

チェック

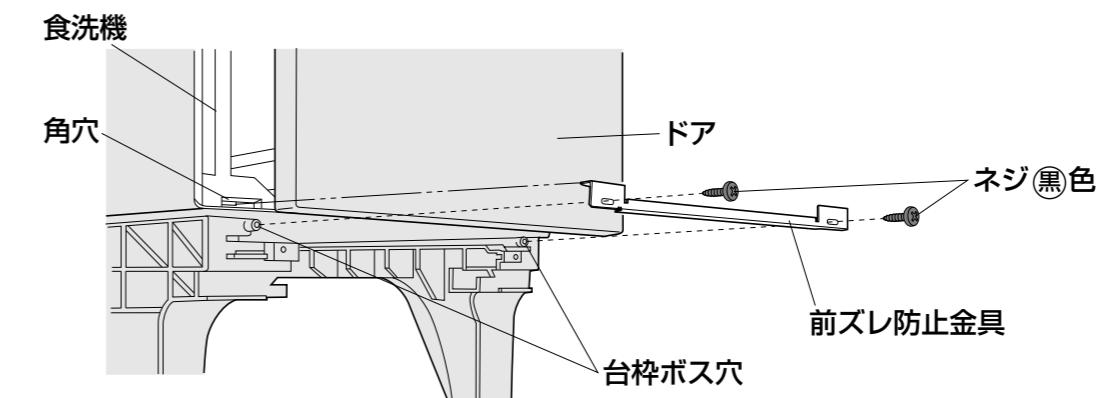
- 1 ドアを少し引き出し、同梱の前ズレ防止金具を食洗機前面下部の角穴にはめ込み、同梱のネジ黒色(2本)で台枠ボス穴に固定する。

⚠ 注意

必ず前ズレ防止金具を取り付ける。



ドアの開閉などにより製品が前へ動き、台枠より落下し、けがをするおそれがあります。



10 給湯(給水)管との接続・排水ホースの接続

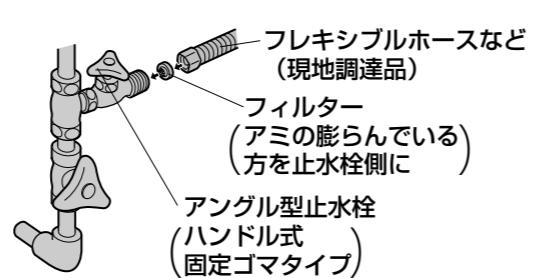
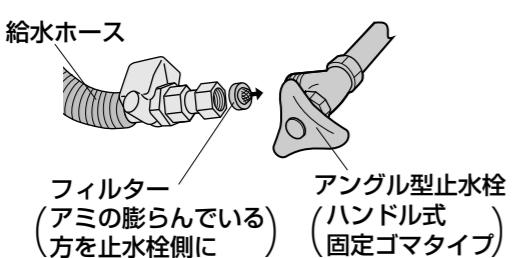


1 給湯(給水)管と接続する

床立上げ、壁出しの場合(配管例:P.9)

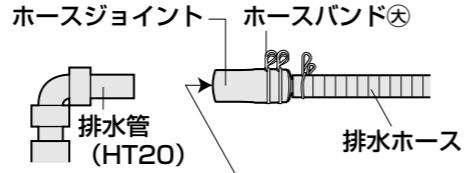
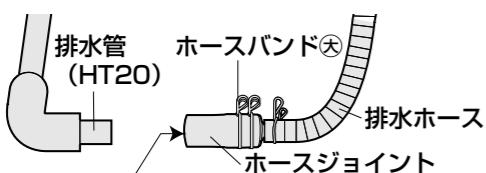
床ころがしの場合(配管例:P.10)

- アングル型止水栓(ハンドル式、固定ゴマタイプ)にフィルターを入れ給水ホースを確実に接続します。(フィルターは給水ホースにセットされています。)(下図参照)
※ナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。
適正締め付けトルク: 5~10 N·m {50~100 kgf·cm}
※市販のスパナなどで締め込みます。



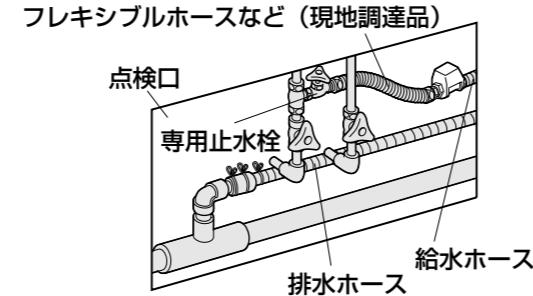
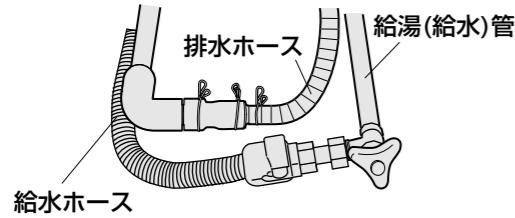
2 排水ホースを接続する

- 排水管(HT20)にホースジョイントを接続し、ホースバンド④で止めます。
このとき排水ホースは給湯(給水)管や、給水ホースの上を通してください。
※排水ホースに折れや、ねじれがないことを確認してください。



ホースジョイントの内面を水でぬらして作業すると接続がしやすくなります。

完成(イメージ)



- ホースバンドが正しく取り付けられているか確認してください。
- 排水ホースに折れや、ねじれ、たるみがないことを確認してください。

△ 注意

給水ホースおよび排水ホースは切断しない。
水漏れの原因となります。

給水ホースを床面に落下させない。



給水ホースは重量物です。落さるとけがをしたり床面が傷付くおそれがあります。

試運転



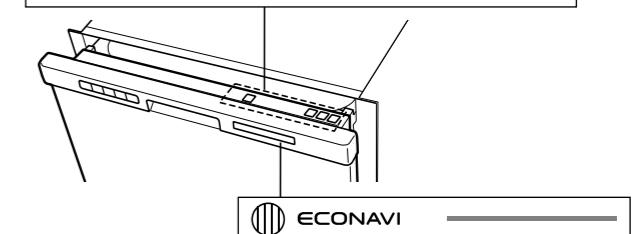
■ 試運転を行う

- 電源が入ること、元水栓・止水栓が開栓していることを確認してください。
- 試運転は約3分で終了し、電源が切れます。(表示が消灯)
※通電、通水が不可状態で試運転が行えない場合は、必ず通電、通水可能後に試運転を行ってください。
(ドアを開けて、水や湯を入れない)

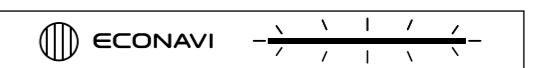
1 止水栓を開く。



2 「一時停止/スタート」ボタンと「コース」ボタンを押しながら「電源」ボタンを押す。



試運転中の表示(青色点灯)



3 ボタンから手を離し、3秒以内に「コース」ボタンを押す。

4 ドアを閉じると、試運転が開始。

- ※ ドアを閉じないと『ピピッピピッ』とブザーが繰り返し鳴ります。
(閉じると試運転が開始)

■ 確認を行う

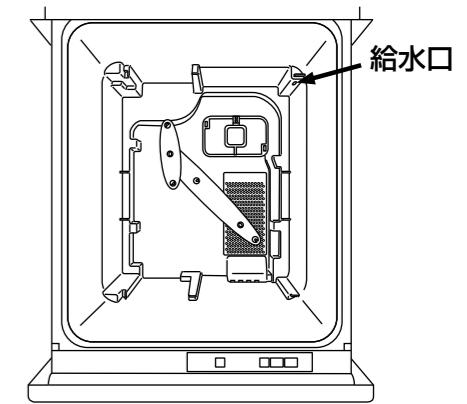


【運転中】

噴射音: 正常にバシャバシャ音がするか。

(一定量の水があり、シャワーを噴射しながら庫内のノズルが回転する音)

水漏れ: 給水・排水の接続部や止水栓、その他からの水漏れがないか。



【運転終了後】(ブザーが鳴り、電源が切れます)

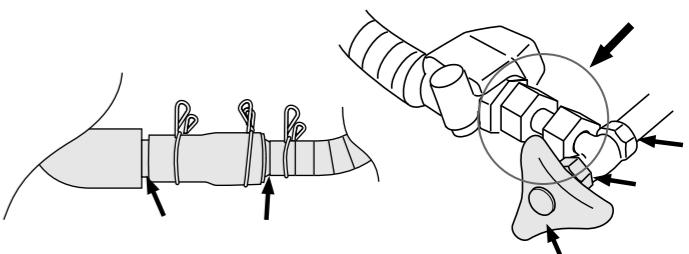
排水状態: ドアを開け、庫内の水が排水されているか。

止水状態: 電源が「切」の状態で、給水口から水が出でていないか。

※試運転後は、止水栓を開いたままにしておいてください。

※長期間居住されない場合は、万が一の水漏れ防止のため、必ず家屋の元水栓を閉めてください。

水漏れ確認(矢印の箇所)



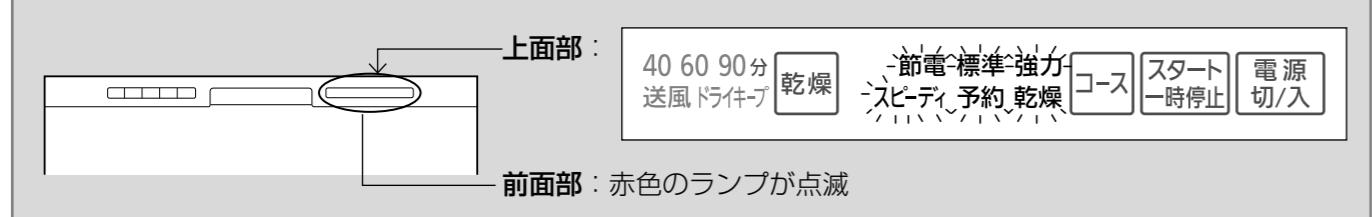
△ 注意

凍結のおそれのある所へ設置するときは必ず水抜き作業を行った後、止水栓を閉める。

止水栓を閉めないと凍結した際に、給水弁を破損して水漏れするおそれがあります。

異常報知について

試運転で表示部が点滅しブザーが鳴る場合は、以下の内容を確認・処置後、再度運転を行ってください。



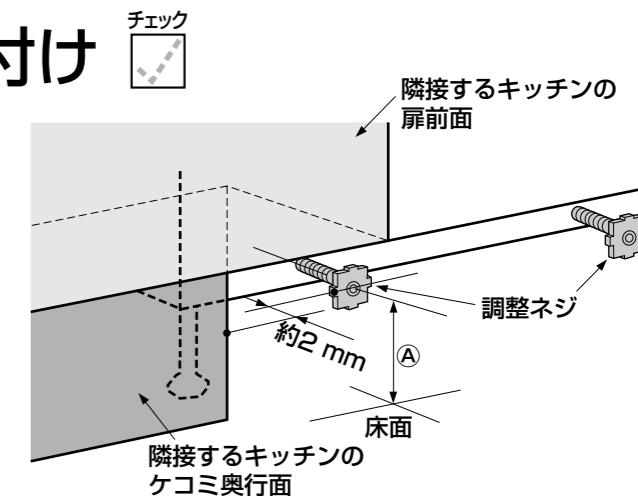
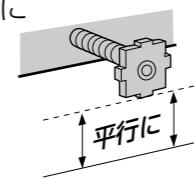
表示	原因	処置
上面部：全コースのランプが点滅 前面部：赤色のランプが点滅	ドア開異常 運転をスタートした後、ドアが確実に閉まっていない。	●ドアを確実に閉めると、運転が始まります。 前面部：赤色のランプの点滅から青色のランプの点灯を確認
上面部：節電 標準 強力のランプが点滅 前面部：赤色のランプが点滅	排水不良 排水ホースの折れやつまりによって、洗浄槽内の水が排水できないため。	●電源を「切」にする。 ●排水ホースに折れぐせがないか確認する。 (折れぐせがない場合は直す)
上面部：標準 強力のランプが点滅 前面部：赤色のランプが点滅	給水不良 断水や止水栓／水道の元水栓の開け忘れなどで給水ができないため。	●電源を「切」にする。 ●断水の場合は断水の回復を待って運転する。 ●キャビネット内の止水栓および元水栓は必ず開栓する。 ●給水弁先端にあるフィルターの付着物を取り除く。
上面部：節電 強力のランプが点滅 前面部：赤色のランプが点滅	機内の水漏れ不良 本体内から水漏れしている。	①止水栓／水道の元水栓を閉める。 ②電源(ブレーカー)を切る。 ③本体底面の排水口キャップを外して本体内の水を抜く。 (排水口キャップの位置はP.4参照) ④排水口キャップをもとの位置にはめ込む。 ⑤電源(ブレーカー)を入れる。 ※水漏れのおそれがあるため、販売店もしくは裏表紙に記載の事業部にご連絡ください。

試運転後の作業

1 ケコミカバーの取り付け

- 1 調整ネジ(左右2か所)の前面が、隣接するキッチンのケコミ奥行面より約2 mm奥まった位置になるように調整する。

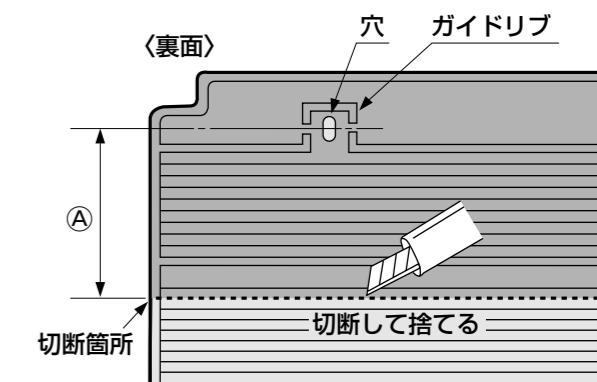
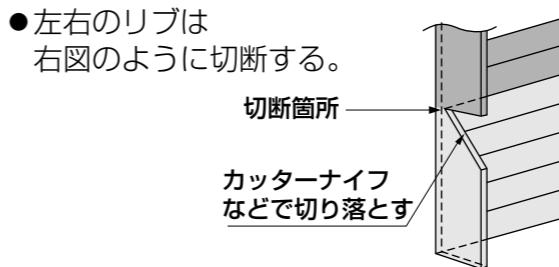
- このとき調整ネジの頭部の四角の一辺を床面と平行にします。
(調整ネジは90°まわすごとに出代が1 mm変わります。)



- 2 同梱のケコミカバーを裏面のV溝にそってカッターナイフなどで切断する。

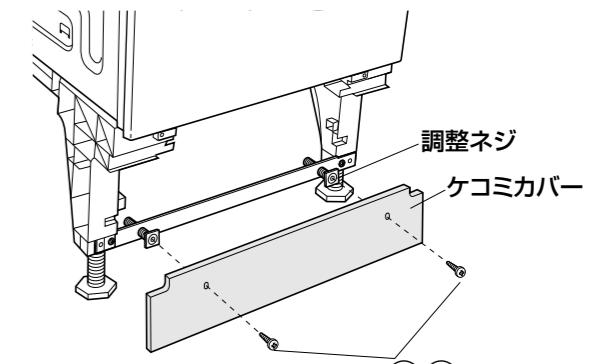
(キッチン高さにより、切断箇所が異なります。)

- 1) 床面と調整ネジの穴の高さAを測る。
- 2) Aの長さに合わせてケコミカバーを切断する。



- 3 カッターナイフなどで切断面の端面処理をする。
(切傷防止のため)

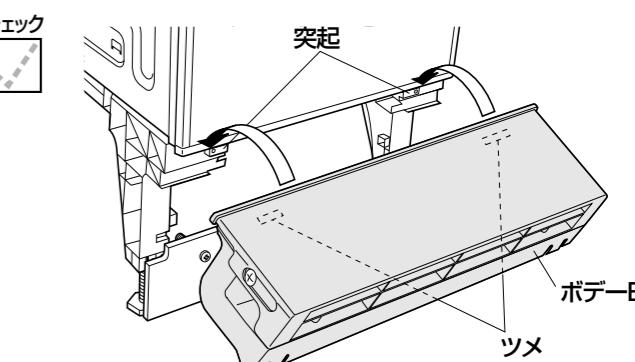
- 4 裏面のガイドリブ(手順2の図参照)に調整ネジの頭部をはめ込み、同梱のネジで締め付ける。



- 必ずビルトイン後にケコミカバーを取り付けてください。床面と接触し浮き上がる原因になります。
- ケコミカバーが浮き上がっている場合は、Aの長さより短めに切断して取り付けてください。

2 ボーデーBの取り付け

- 1 ボーデーBのツメを台枠の突起にはめ込み、カチッと音がするまで下方を押して取り付ける。



■ 設置後の点検（チェックリスト）



■ お客様への取り扱い説明



点 檢		点 檢 内 容	参照ページ	チェック
機器及びその周辺	ド ア の 開 閉	他の機器への障害はありませんか。	P.6	
	転 倒 防 止 金 具 前 ズ レ 防 止 金 具	転倒防止金具及び前ズレ防止金具は取り付けましたか。	P.11 P.17	
給湯(給水)・排水接続	給湯器と接続の場合	指定する給湯器に接続されていますか。	P.8	
	フィルター	給水ホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。	P.18	
	排 水 ホ ー ス	排水管との接続部と確実に接続したことを確認しましたか。 また押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。	P.16 P.17 P.18	
電 気 接 続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125 V 15 Aのアースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか。	P.7 P.15	
		アース線を接続しましたか。	P.15	
試 運 転		試運転を行い、正常に動作しましたか。	P.19	

又取説明書によって製品の取り扱いをご説明し、保証書に必要事項を記入のうえ保管のお願いをしてください。

寒冷地において冬季長期間ご使用にならない場合の水抜き方法（機内給水経路）

-

お客様（所有者）が所有者登録を行うようご協力をお願ひいたします

■ 設置業者様へ

本製品を設置される事業者様は関連事業者として位置づけられており、点検等の保守や所有者登録の必要性に関する情報提供を求められております。

ご客様（所有者）に所有者登録の必要性をご理解いただけたため、設置終了時に以下の説明をお願いいたします。

設置終了時の説明

ご客様（所有者）に所有者票（黄色の封筒に入っています）を示して右記内容を説明してください。

■販売業者様へ

特定保守製品取引事業者様には以下の義務及び責務が消費生活用製品安全法に定められていますので、ご協力ををお願いいたします。

- 1) 所有者に所有者票に記載の「法定説明事項」を説明する義務
2) 所有者は起の堤防の協力義務

※賃貸集合住宅の所有者または管理会社様へ

複数の特定保守製品の登録をおこなっていただいく場合、所有者票による登録だけでなく、複数の製品をまとめて登録いただける所有者票を準備させていただいております

下記アドレスより「所有者票（賃貸集合住宅所有者様用）」
をダウンロードしていただけます。

<http://panasonic.co.jp/chouki/regist/registrationpaper01.php>

パナソニック株式会社 キッチンアライアンス事業部

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

電話 077-563-5211

© Panasonic Corporation 2013

P9902-02W00